

日本の近代戯曲研修セミナーin大阪

Aプログラム

『第一人者』

暴雨風の翌日の快晴の午後、理学博士で北極探検家である榊崎元城の自宅から、北極探検を共にした博士の愛犬「ユウラ」が逃げ出した。博士の次女俊子は、父が唯一心を許していたユウラが逃げた事を知ると悲しむだろうと必死に探していたが、榊崎家の下女ろくは、研究の為に家族を犠牲にする博士に同情する事はないと取り付く島もない。そこへ長女である道子とその息子徹太郎が広島から帰省する。博士は昨日完成した探検記を自費出版する為、自宅を売ろうと計画している事を家族に告げる。庭には測量士達がやってきて家の測量をはじめている。道子は勝手に自宅を売ろうとする父に激昂し、父の研究は道楽であり、出版しようとしている本はまるで取り留めの無い夢のような本だと罵倒する。生涯を掛けて行ってきた研究を全否定された博士は、自分はこの世で唯一北極の真実を知る「第一人者」であると訴える中、ユウラが居ない事に気づいてしまう。

作■真山青果 Mayama Seika

[1878~1948] 劇作家・小説家。宮城の生まれ。本名、彬(あきら)。小栗風葉に師事し、自然主義作家として出発。のち劇作に転じ、多くの戯曲を発表。また、西鶴・馬琴などの考証にもすぐれた業績を残した。

小説「南小泉村」、戯曲「玄朴と長英」「平将門」「元禄忠臣蔵」など。

演出■橋本匡 (万博設計)

(万博設計代表/演出家・劇作家・チラシデザイン/ウイングフィールド企画主任) 1982年生まれ。近畿大学文芸学部芸術学科演劇芸術専攻卒業。近畿大学在学中「尼崎ロマンポルノ」を結成し、作・演出を担当。現在は尼崎ロマンポルノを解体し、演劇ユニット「万博設計」で活動。俳優育成事業「俳優設計」企画、プロデュース。

講師■菊川徳之助 (演出家・日本演劇学会理事)

元近畿大学舞台芸術教授で、学校で現場で演劇実習、他に、演劇史、演劇概論の講義も担当。現在、日本演出者協会理事・関西ブロック代表、関西朗読コンテスト審査委員長。著書「実践的演劇の世界」(昭和堂)。近代現代演劇研究として、岸田國士作品の演出や、木下順二、遠藤周作、宮本研、芳地隆介などの論文あり。

【出演】千田訓子、猿渡美穂、森田かずよ (convay)、福井千夏、新井聖美 (テアトルアカデミー)、小野亮子、松原佑次 (遊劇舞台二月病)、他

【演出助手】中嶋悠紀子 (プラスマみかん) 【制作】今野恵子、松尾見典

Bプログラム

『恐怖時代』

江戸時代の大名、春藤家の下屋敷。側室お銀の方と女中梅野が、家老職の春藤鞠負と謀り事をめぐるしている。それは身重の正室を毒殺して、お銀の子供を跡継ぎにし、お家を略奪する計画だった。お銀は医者玄沢を呼び寄せ、巧みな口説と手練手管でまじこみ、毒薬を手に入れる。毒薬を盛る役目に臆病者のお茶坊主珍齋を脅し一味に引き込む。危機を感じた珍齋の娘お山良は謀反を密告しようとするが殺されてしまう。梅野と深い間柄であるうら若き美剣士、儀具伊織之介は、実はお銀の方ともただの関係ではない。愛憎と策略は深みを増し複雑に絡み合っていく。策略の進む中、残酷で血を好む春藤家の太守の乱行をいさめるために氏家、菅沼の二人が酒席に乗り込み、太守を羽交い締めしている。剣の達人である伊織之助はそこへ駆けつけるが……。

作■谷崎潤一郎 Tanizaki Junichirou

[1886~1965] 東京日本橋生まれ。東京帝国大学国文学科に入学。「三田文学」誌上で永井荷風に激賞され文壇的地位を確立。関東大震災を機に関西へ移住。初期は豊饒な官能美と陰翳のある古典美の世界を描いた耽美主義であったが、作風や題材・文体や表現は変遷し続け、通俗性と芸術性を高度に融合させた。戯曲・評論・随筆・翻訳も多く手掛けている。代表作:「痴人の愛」「春琴抄」「細雪」(小説)、「お国と五平」(戯曲)

演出■泉寛介 (baghdad café)

(baghdad café所属/演出家・劇作家・俳優/大阪現代舞台芸術協会理事) 1980年生まれ。関西学院大学文学部卒業。関西で活動する「baghdad café」の脚本・演出を担当。【劇団】space×drama2009にて優秀劇団に選出。大阪セレクション2007・2009参加。AI・HALL 次世代応援企画break a leg参加。【個人】AAFリージョナルシアター〜大阪と愛知〜に構成・演出として選出。AI HALL・愛知芸術劇場、神戸学院大学で上演。1人芝居フェスティバルINDEPENDENTにて演出作品が札幌・仙台・津・福岡・長崎へ招聘。戯曲賞第3回近松賞優秀賞受賞。

講師■塚本修 (stage staff/CQ代表)

(舞台監督・俳優・ステージプランナー/stage staff/CQ代表/ウイングカップ審査員/富山県高校演劇大会審査員/大阪高校演劇祭(HPF)講師サポーター) 1958年生まれ。劇評家として演劇関係誌コメント多数。谷崎作品への造詣も深い。97年、関西野外演劇連絡協議会主催「飛田演劇賞」最優秀功労賞受賞。98年、まにわ演劇学校名誉講師。08年、愛知県高校演劇大会専門家助言者。10年、「ウイングカップ」審査員。11年、中部日本高校演劇大会審査員。14年、富山県高校演劇大会審査員。

【出演】有元はるか (はちきれることのないブラウスの会)、一明一人、小野愛寿香 (i_garden、ステージタイガー)、久家順平 (舞夢プロ)、葛原敦嘉 (がっかりアバター)、立花裕介、辻りこ (baghdad café)、徳永健治、巖だるマン (劇的細胞分裂爆発人間 和田謙二)、杉原公輔 (匿名劇場)

DATE

2015年

※各プログラム11日2ステージ
※開演30分前より受付開始・開場

Aプログラム	① 13時~	14時30分~
	② 17時~	
2月7日(土)		
Bプログラム	① 11時~	
	② 15時~	16時40分~
2月8日(日)		

PLACE

劇団未来ワークスタジオ

大阪府大阪市城東区成育 1-4-25
TEL: 06-6939-5777



京阪「野江駅」①出口を線路沿いに京橋方面へ徒歩3分
地下鉄谷町線「野江内代駅」①出口徒歩10分

SYMPOSIUM

シンポジウム

2月7日(土) 13時の回終演後 (14時30分頃開始)

「イプセンが日本近代演劇、そして現代に与えた衝撃」

パネラー◎毛利三彌 (成城大学名誉教授) / 橋本匡 司会・講師◎菊川徳之助

パネラー■毛利三彌 (もうりみつや)

成城大学名誉教授、元日本演劇学会会長
主な著書:『イプセンのリアリズム』『イプセンの世紀末』『東西演劇の比較(編著)』『演劇の詩学』
主な訳書:『イプセン戯曲選集—現代劇全作品』『イプセン現代劇上演全集』
主な演出:イプセン現代劇連続上演(1999~2012)

2月8日(日) ② 15時の回終演後 (16時40分頃開始)

シンポジウム

「悪女崇拜と物語の復権」

パネラー◎林廣祺 (成城大学教授) / 泉寛介 / 塚本修 司会◎キタモトマサヤ (遊劇体)

パネラー■林廣祺 (はやしひろか)

1953年奈良市生まれ 成蹊大学文学部教授
専門は日本近代文学および近代演劇で、さまざまな小説や戯曲をどう読み解くかに関心をもって研究を進めています。
近著としては、日本近代演劇史研究会編『岸田國士の世界』(翰林書房2010)、『井上ひさしの演劇』(翰林書房2012)など。

各回 500円 ※日本演出者協会会員無料

チケットご予約・お問い合わせ

日本演出者協会 関西ブロック事務局

✉ kansaiblock@yahoo.co.jp

🌐 https://ticket.corich.jp/apply/61441/

ご予約はPC・携帯からも便利
「CoRich」をぜひご利用下さい

📍 ざらざら 日本演出者協会関西ブロック

お問い合わせ ☎ 080-4025-2202 (関西ブロック事務局)

公開研修 稽古見学できます!!

※ご希望の方は、各作品のお問い合わせ先にお申し込み下さい

Aプログラム 真山青果作品

☎ 070-5264-9196 (万博設計)

✉ exposdesign@gmail.com

Bプログラム 谷崎潤一郎作品

☎ 090-4283-9534 (イズミ)

✉ hirotsukezumi@gmail.com

お薦めステージ紹介ポータル

CoRich 舞台芸術!

http://stage.corich.jp

日本演出者協会 JAPAN DIRECTORS ASSOCIATION

■関西ブロック役員/井之上淳・今泉おさむ・若崎正裕・笠井友仁・金子順子
■スタッフ(共通)/舞台監督佐野泰広(CQ)
■音響大西博樹/照明菅野万里恵 (baghdad café)
■宣伝美術オレンヂスタ美術部

クチコミ件数220,000件!
(2014年8月現在)

中・小劇場を利用する芸術団体向け
かんたん! 便利な! チケット管理システム
CoRich チケット! 利用無料!